

# Website

## IRニュースメールサービス開始

JALUXのニュースリリースやIRサイトの更新などをeメールでお知らせいたします。

JALUX ホームページでは、株主・投資家情報やニュースメールサービスなどをご提供しています。

1 [www.jalux.com](http://www.jalux.com)



2 「株主・投資情報」



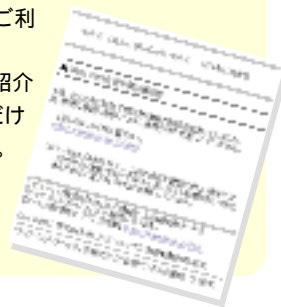
3 「IRニュースメールのご案内」



マイルがたまる  
ショッピングサイト  
JALショッピング  
[www.shop.jal.co.jp](http://www.shop.jal.co.jp)



パソコンのメールアドレスをお持ちの方は、どなたでも無料でご利用いただけます。  
また、ホームページの中でご紹介しているIR資料もご請求いただけますので、ぜひご活用ください。



Aviation-Related

Lifestyle Services

Customer Services

4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3  
month

## 第44期 中間事業報告書

2004年4月1日 ~ 2004年9月30日

株式会社 JALUX

株式会社 JALUX

(東証1部：銘柄コード2729)

〒140-8638 東京都品川区東品川2-4-11 JALビルディング  
TEL03-5460-7109(株主チーム)03-5460-7233(IRチーム)

[www.jalux.com](http://www.jalux.com)



古紙配合率100%再生紙と、米国大豆協会認定の大豆油インキを使用しています。

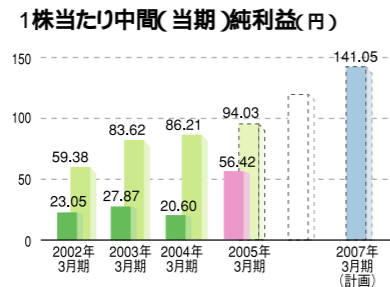
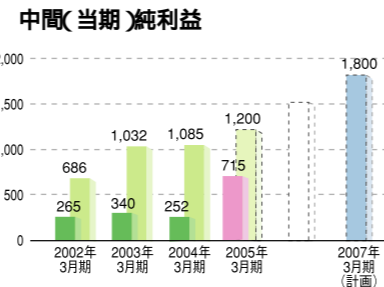
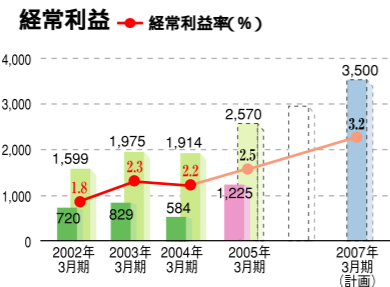
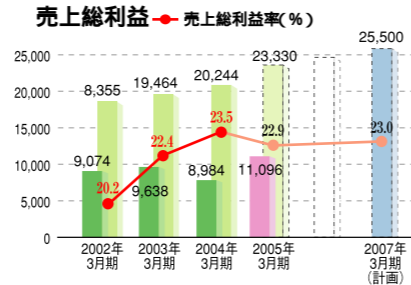
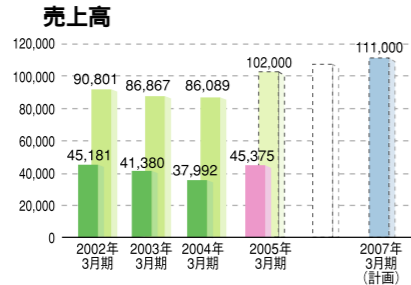
2004年12月発行

# CONTENTS

- 業績の推移および計画 ----- 1
- 当中間期のトピックス ----- 2
- トップメッセージ(営業の概況) ----- 3-4
- 新規事業展開レポート ----- 5-6
- 中間連結財務諸表 ----- 7-8
- 株主情報 / 株主メモ ----- 9
- 株主優待 ----- 10
- 会社概要 / 役員 ----- 10

## 業績の推移および計画(単位:百万円)

### Consolidated Financial Summary



- グラフ手前は中間期業績を表します。
- 利益率は通期の数値を表示しています。
- 2005年3月期(通期)以降は予想または計画値です。

将来の計画に関する記載は、現在において入手可能な情報および仮定に基づき作成しており、実際の業績はさまざまな要因により計画と異なる場合があります。

## Topics for The Interim 当中間期のトピックス

### ワイン

**2004/04**  
第2回『JALUX WINE AWARD』開催  
飲料・サービス業界の将来を担う若手サービスマンの育成などを趣旨に昨年発足した『ジャルックスワインアワード』。本年も多数のエントリーを得て、第2回コンテストを開催いたしました。

**2004/06**  
“CLOS DU VAL” ワインの販売を開始  
ワイン界において高い評価を得る、カリフォルニア ナバ・ヴァレーのワイナリー、クロデュバル社と総輸入販売代理店契約を締結。ワイン事業における商品ポートフォリオの充実をはかりました。

**2004/08 ~**  
2004「ボージョレー・ヌーヴォー」を販売  
例年ご好評をいただいている新酒ワイン「ボージョレー・ヌーヴォー」の予約販売を8月に開始。JAL CARGOの空輸により、蔵出し解禁日となる11月18日、高品質のヌーヴォーをお届けいたしました。



JALの機内ワインセレクションは、英国の有名なビジネス誌、ワイン誌主宰のコンペティションにおいて、4部門受賞の栄誉に輝きました。

> JALファーストクラスでは、JALUX が輸入販売を手がけるシャンパン『ポール・ロジェ サー・ウィンストン・チャーチル』などをお楽しみいただけます。

THE 2004 CELLARS IN THE SKY AWARDS

### Wine

### JALセレクション JAL Selection

**2004/04**  
『SKY TIME【YUZU】』の販売を開始  
オリジナル企画商品として、ご好評をいただいている『JALセレクション』の清涼飲料水『スカイタイム』。本年4月に、海洋ミネラルを含んだ「にがり」を使用した「ゆず」味のドリンクにリニューアルいたしました。



### JAL PLAZA いぎりす屋 JAL Plaza Igrisu-ya

**2004/07**  
『JAL PLAZA いぎりす屋』リニューアルオープン  
英国・ロンドンにおいて、ヨーロッパのブランド商品、雑貨、食品などを販売する『JAL PLAZA いぎりす屋』。“BEST SELECT! BRITISH”をコンセプトに、“It's Tea Time”など8つのテーマで構成されるギフトショップとしてリニューアルオープンいたしました。



### 空弁(そらべん) Soraben

**2004/07 ~**  
「空弁」新商品を発売 ~WEBカタログもオープン~  
空港店舗『BLUE SKY』における『みち子がお届けする若狭の浜焼き鯖寿司』のヒットを機にブームとなった「空弁」。お客様のニーズにお応えして、新たに『そらの小箱』シリーズなどの販売を開始し、ラインナップの充実をはかりました。さらにホームページでは「空弁」カタログをオープン。空の旅のお楽しみをご提案しています。



www.jalux.com/c/bluesky

## トップメッセージ( 営業の概況 )

合併効果や航空需要の回復により  
大幅な増益を実現。

皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

前期は特に前半において、国際情勢不安やSARSなどにより航空関連需要が低下し、厳しい環境で推移いたしました。当中間期は概ね需要も回復し、当社を取り巻く事業環境は好転いたしました。

一方、本年1月の(株)JAS(ジェイエイス)トレーディングとの合併による効果も、当期からは通期で業績に貢献することとなり、当中間期においても顧客サービス事業などの増益に大きく寄与いたしました。

これらの要因と各事業における諸施策の奏功により、当中間期の業績は前中間期を大幅に上回り、期初予想の利益水準を達成することができました。

当期は、本年3月の東証1部上場(銘柄指定)後の実質的な初年度であるとともに、「毎期20%の利益成長」を掲げる新中期経営計画の実現に向けての重要な初年度でもあります。そのスタートにおいて、順調な業績により新たな飛躍へ向けての第一歩を踏み出したことは、株主の皆様、お取引先の皆様、日頃のご支援の賜物と深く感謝いたします。

また、今後につきましても、皆様方のご期待にお応えすべく確実な成長を目指し、企業価値向上のために尽力してまいります。

引き続き、一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役会長兼社長  
横山 善太

### ■ 当中間期の業績の概況( 2004年9月中間期 )

当中間期は、国際旅客需要の大幅な回復により、成田空港免税店『JAL-DFS』や、国際線機内販売用免税品等の事業において大幅な増収増益となりました。また、JASトレーディングとの合併影響額(合併効果)の寄与により、空港店舗『BLUE SKY』においても大幅な増収増益となりました。

これら、顧客サービス事業を中心とした業績の好調な伸長により、当中間期の売上高は453.8億円(前中間期比120%)、売上総利益は111億円(同124%)、航空関連事業 17億円、生活提案事業 94億円と前中間期を上回りました。

また、合併に伴う人件費の増加などがあったものの、販売費及び一般管理費の増加を一定の水準に抑制し、営業利益11.4億円(同237%)、経常利益12.3億円(同210%)、中間純利益7.2億円(同284%)と、いずれも前中間期を大幅に上回る業績となりました。

### ■ 通期の業績の見通し( 2005年3月期 )

中間期において順調であった航空関連需要は、今後も概ね順調に推移するものと予想されます。

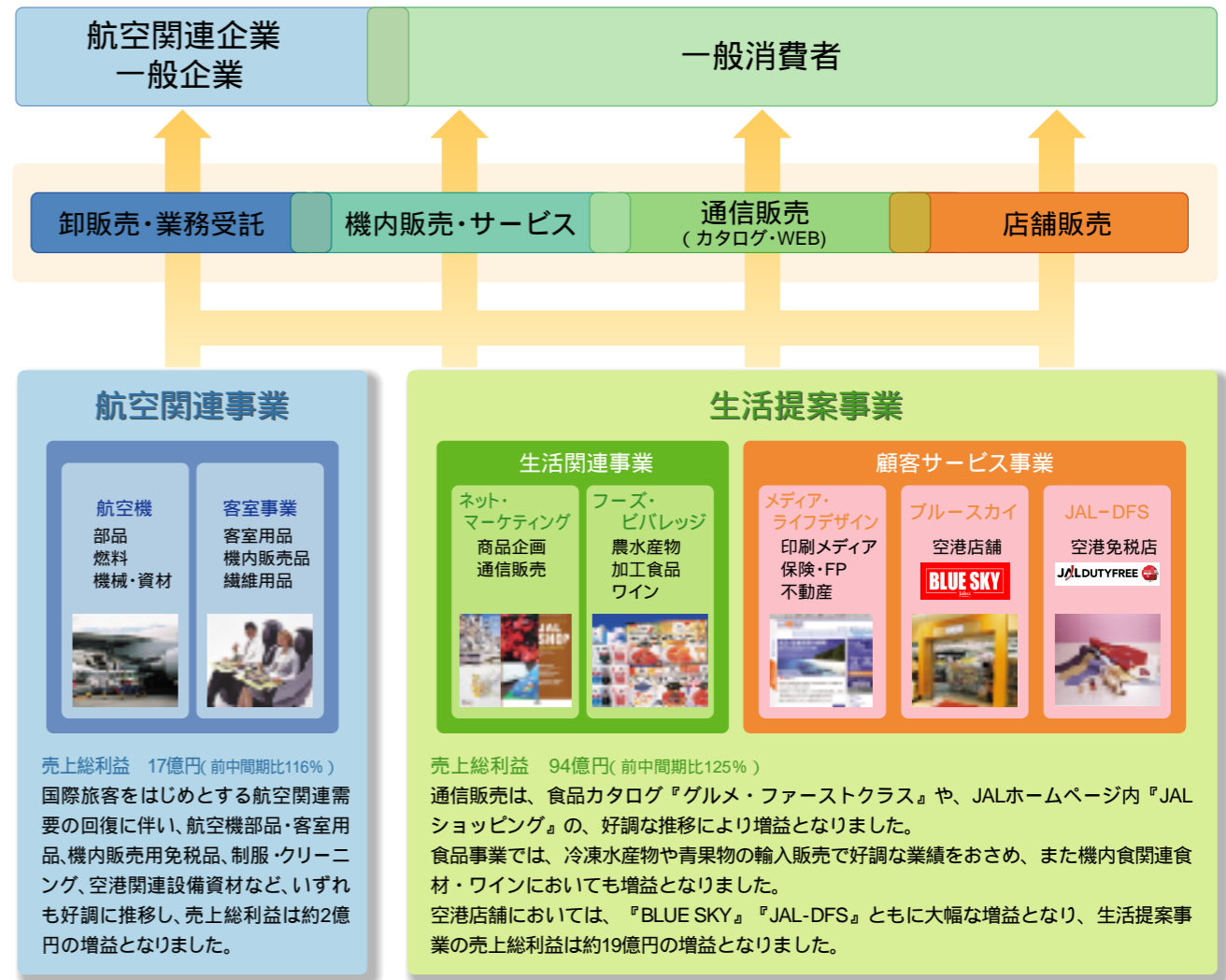
安定基盤である航空関連事業においては、当期よりスタートした航空機部品の保管・供給ビジネスの確立をはかり、JALグループ外の航空関連企業向け営業を強化してまいります。

また、生活提案事業では、通信販売における食品・健康分野商品の充実や、空港店舗におけるさらなる運営効率の向上など、引き続きリテールチャネルの強化を進めてまいります。

これらにより、通期の業績は期初予想のとおり、売上高1,020億円(前期比119%)、経常利益25.7億円(同134%)、当期純利益12億円(同111%)と、増収増益を見込んでいます。

さらに、中期経営計画において重要分野と位置づける「環境」「文化」「厚生」の3分野への新規事業展開を積極的に推進し、中長期的な企業価値の向上へ向けて邁進してまいります。

### 当中間期のセグメント別概況



## 厚生・環境分野への展開

## 『JALUXグッドタイムホーム・調布』をオープン

介護施設運営会社(株)JALUXライフデザインを設立

今後一層の高齢化社会を迎える日本において、『幸せづくりのパートナー』を企業理念に掲げるJALUXは、介護事業の実績とノウハウを有する(株)創生事業団と合併で、本年4月に介護施設運営会社(株)JALUXライフデザインを設立いたしました。

そして、高齢者が豊かで潤いのある最良の人生を創造することができるよう、この10月に、介護付有料老人ホーム『JALUXグッドタイムホーム・調布』をオープンいたしました。

安心と信頼のヒューマンサービス

その基本コンセプトは、建物や内装などの品質はもちろん、ケアスタッフが家庭的な雰囲気づくりに心がけ、ご入居者のお世話に努める“安心と信頼のヒューマンサービス”です。



上質で心地よいホスピタリティにより、もっとも快適に過ごせる施設を目指し、人生のセカンドステージの豊かな時間にふさわしい生活空間を築いてまいります。

大きな特長のひとつは、要介護者3名に対してケアスタッフ2名換算の配置という、手厚くクオリティの高い介護サービスの提供です。さまざまなご相談を承るコンシェルジュも常勤し、生活の安心と快適をサポートいたします。

「厚生」「環境」分野における事業の育成

今後、『JALUXグッドタイムホーム』の堅実な運営により、介護事業を「厚生」分野における中長期的基幹事業へと育成をはかってまいります。

また、施設運営を通じて、ガーデン・緑化事業など、「環境」分野への展開も進め、『幸せづくりのパートナー』としての理念の具現化と企業価値の向上を目指してまいります。

## 施設概要

所在地 東京都調布市小島町2丁目3-6(調布駅徒歩約9分)  
総居室数 73室(シングル64室、ツイン9室)  
入居要件 65歳以上で入居時自立・要介護  
権利形態 終身利用権方式(単年利用型も有り)  
介護保険 東京都指定介護保険特定施設(1374201331号)  
介護体制 1.5:1以上

## JALUXグッドタイムホーム・調布

お問い合わせ先 ☎0120-32-9006

<http://www.jalux-goodtimehome.com>

## 文化分野への展開

## 『中国大紀行』の撮影・製作の進展

JALUXは、文化的価値の高い映像コンテンツの創出を目的に、『中国大紀行』の製作に出資いたしました。

この作品は、初めて本格的に撮影される秘境を含む、中国全土の歴史風景や遺跡などを、ハイビジョン映像に記録し、壮大な紀行映像の完成を目指すものです。

製作は「世界遺産」シリーズを手がけた「エバーグリーン」が担当し、本年4月に現地取材を開始。その後、撮影は順調に進展し、期待以上の仕上がりが見込まれています。

2005年4月から「BS-i」での放映をスタート、5月にはJALUXが総販売元となり『中国大紀行(DVD全10巻)』の販売を開始する予定です。



杭州

包頭

大理

## 中国大紀行

お問い合わせ先 ☎03-5460-7182

『中国大紀行』製作委員会

(株)JALUX  
(株)ビーエス・アイ(BS-i)  
(株)エバーグリーン・デジタル・コンテンツ  
(株)千代田ビデオ

## 絵画で巡る、世界の旅『JALアートギャラリー』

絵画などの作品を通じた世界の美しい風景や文化の継承を趣旨に、本年11月に『JALアートギャラリー』ホームページをリニューアルいたしました。

現在、安野光雅氏のオリジナルリトグラフを中心とした企画・制作・販売を行い、都市や農村に息づく自然や文化、憧れの地の情景、旅の素晴らしさなど、心の琴線に触れる数々の作品をご紹介します。

これからも、ギャラリーの一層の充実をはかり、心にゆとりと安らぎを与えてくれる、価値ある美術品のご提案に取り組んでまいります。

ニューヨーク



ドナウ河畔

## JALアートギャラリー

お問い合わせ先 ☎03-5460-7182

<http://www.jalux.com/art/>

安野光雅氏プロフィール

1926年島根県生まれ。欧米ではアノー(ANNO)の名で著名。国際アンデルセン賞画家賞、芸術選奨新人賞など多数受賞。

中間連結財務諸表(要旨)(単位:百万円、単位未満は切り捨て)

■ 中間連結貸借対照表

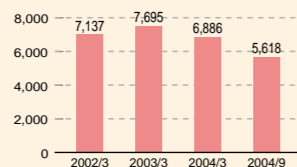
科目	期別	前期(第43期) 2004年3月31日現在	当中間期(第44期) 2004年9月30日現在
<b>資産の部</b>			
流動資産		<b>24,068</b>	<b>22,887</b>
現金及び預金		4,130	3,970
受取手形及び売掛金		12,042	10,114
たな卸資産		5,115	6,093
繰延税金資産		412	389
その他		2,401	2,350
貸倒引当金		34	30
固定資産		<b>11,638</b>	<b>11,514</b>
有形固定資産		4,648	4,544
無形固定資産		540	487
投資その他の資産		6,449	6,482
投資有価証券		2,065	2,122
長期貸付金		1,395	1,374
長期差入保証金		2,357	2,301
繰延税金資産		317	331
その他		531	548
貸倒引当金		218	195
資産合計		<b>35,706</b>	<b>34,401</b>

科目	期別	前期(第43期) 2004年3月31日現在	当中間期(第44期) 2004年9月30日現在
<b>負債の部</b>			
流動負債		<b>20,343</b>	<b>19,350</b>
支払手形及び買掛金		12,312	12,214
短期借入金		3,267	2,887
未払法人税等		647	667
未払費用		2,407	2,192
その他		1,708	1,387
固定負債		<b>4,260</b>	<b>3,449</b>
長期借入金		3,618	2,730
退職給付引当金		212	277
役員退職慰労引当金		139	146
その他		289	294
負債合計		<b>24,603</b>	<b>22,799</b>
<b>少数株主持分</b>			
少数株主持分		<b>626</b>	<b>667</b>
<b>資本の部</b>			
資本金		<b>2,558</b>	<b>2,558</b>
資本剰余金		<b>711</b>	<b>711</b>
利益剰余金		<b>7,448</b>	<b>7,889</b>
その他有価証券評価差額		<b>8</b>	<b>3</b>
為替換算調整勘定		<b>242</b>	<b>218</b>
自己株式		<b>6</b>	<b>8</b>
資本合計		<b>10,477</b>	<b>10,935</b>
負債、少数株主持分及び資本合計		<b>35,706</b>	<b>34,401</b>

【有利子負債】

(短期借入金+長期借入金+社債)

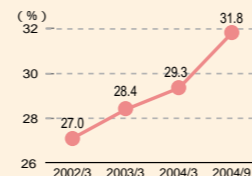
営業収入の堅調な推移に伴う借入金の返済により、有利子負債は前期末に対し12.7億円減少いたしました。



【株主資本比率】

(株主資本÷総資産)

利益剰余金の増加に伴う4.6億の株主資本増加と有利子負債の圧縮により、株主資本比率は向上いたしました。



■ 中間連結損益計算書

科目	期別	前中間期(第43期) 自2003年4月1日 至2003年9月30日	当中間期(第44期) 自2004年4月1日 至2004年9月30日
売上高		<b>37,992</b>	<b>45,375</b>
売上原価		29,008	34,278
売上総利益		<b>8,984</b>	<b>11,096</b>
販売費及び一般管理費		8,505	9,961
営業利益		<b>479</b>	<b>1,135</b>
営業外収益		168	145
営業外費用		63	55
経常利益		<b>584</b>	<b>1,225</b>
特別利益		120	269
特別損失		67	23
税金等調整前中間純利益		<b>638</b>	<b>1,471</b>
法人税、住民税及び事業税		407	665
法人税等調整額		72	12
少数株主利益(控除)		51	78
中間純利益		<b>252</b>	<b>715</b>

【販売費及び一般管理費】

合併に伴う5.3億円の人件費の増加や、店舗の増収に伴う5.5億円の賃借料(歩合家賃)の増加などがありましたが、効率化の推進により、売上総利益21.1億の増益に対し販売管理費14.6億の増加に抑制いたしました。

【営業外収支】

持分法投資利益や為替差益により、営業外収支は+0.9億円となりました。

【特別損失】

固定資産売却益2.5億円などにより、特別損失は+2.5億円となりました。

■ 中間連結剰余金計算書

科目	期別	前期(第43期) 自2003年4月1日 至2004年3月31日	当中間期(第44期) 自2004年4月1日 至2004年9月30日
<b>資本剰余金の部</b>			
資本剰余金期首残高		<b>661</b>	<b>711</b>
資本剰余金増加高		<b>50</b>	<b>0</b>
資本剰余金中間期末(期末)残高		<b>711</b>	<b>711</b>
<b>利益剰余金の部</b>			
利益剰余金期首残高		<b>6,148</b>	<b>7,448</b>
利益剰余金増加高		<b>1,507</b>	<b>715</b>
中間(当期)純利益		1,085	715
利益剰余金減少高		<b>207</b>	<b>275</b>
配当金		195	255
役員賞与		11	19
利益剰余金中間期末(期末)残高		<b>7,448</b>	<b>7,889</b>

■ 中間連結キャッシュ・フロー計算書

科目	期別	前中間期(第43期) 自2003年4月1日 至2003年9月30日	当中間期(第44期) 自2004年4月1日 至2004年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー		<b>763</b>	<b>1,414</b>
投資活動によるキャッシュ・フロー		<b>205</b>	<b>7</b>
財務活動によるキャッシュ・フロー		<b>93</b>	<b>1,583</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額		<b>3</b>	<b>0</b>
現金及び現金同等物の増減額		<b>468</b>	<b>160</b>
現金及び現金同等物の期首残高		<b>3,523</b>	<b>4,106</b>
現金及び現金同等物の中間期末残高		<b>3,992</b>	<b>3,945</b>

## 株式情報 / 株主メモ / 株価・出来高の推移

### ■ 株式情報 (2004年9月30日現在)

会社が発行する株式の総数 **20,000,000株**  
発行済株式の総数(自己株式等控除後) **12,760,946株**  
株主数 **3,774名**

#### 大株主(上位10名)

株主名	持株数	議決権比率
株式会社日本航空インターナショナル	6,890千株	54.1%
株式会社日本航空ジャパン	525千株	4.1%
ニッセイ同和損害保険株式会社	392千株	3.1%
東京海上火災保険株式会社	392千株	3.1%
三井住友海上火災保険株式会社	252千株	2.0%
JALUX 社員持株会	208千株	1.6%
あいおい損害保険株式会社	189千株	1.5%
株式会社損害保険ジャパン	189千株	1.5%
空港施設株式会社	168千株	1.3%
ピクテアンドシーヨーロッパエスエー	166千株	1.3%

### お知らせ

本年11月24日付の当社株式に関する発表につきまして、その実施概要を下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

#### 親会社株式の一部異動について

本年11月24日、(株)日本航空インターナショナルは、保有株式のうち6,515,900株を、親会社である(株)日本航空に譲渡いたしました。

#### 株式の売出しについて

本年11月24日、当社取締役会において、以下の概要を決議のうえ、株式の売出しを実施いたしました。

売出人 : (株)日本航空インターナショナル  
:(株)日本航空ジャパン  
売出株式数 : 800,000株  
(オーバーアロットメントによる売出株式数上限 : 100,000株)  
売出価格 : 1,795円

上記実施直後において、筆頭株主は(株)日本航空(持株数6,515,900株、議決権比率51.2%)となりました。

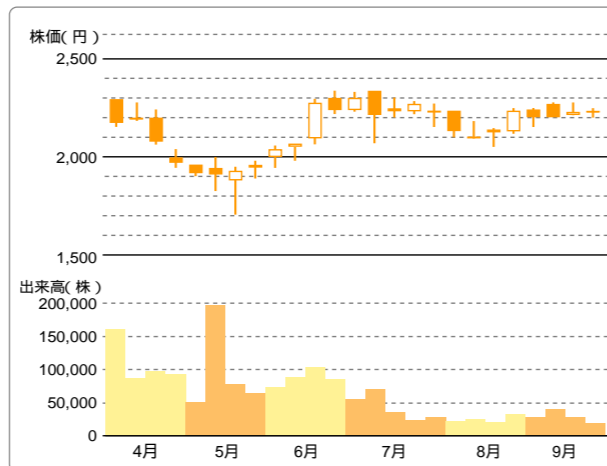
\*詳細につきましては、当社ホームページの「お知らせ」をご参照ください。www.jalux.com

### ■ 株主メモ (2004年12月1日現在)

決算期 3月31日  
定時株主総会 6月中  
株主確定基準日 3月31日(定時株主総会・利益配当金)  
1単元の株式数 100株  
名義書換代理人 東京都千代田区丸の内1丁目4番3号  
UFJ信託銀行株式会社  
同事務取扱所 東京都江東区東砂7丁目10番11号  
UFJ信託銀行株式会社  
☎ 0120-232-711  
同取次所 UFJ信託銀行株式会社全国各支店  
野村證券株式会社本店ならびに  
全国各支店  
公告掲載新聞 日本経済新聞

( 貸借対照表および損益計算書に係る情報は、当社ホームページhttp://www.jalux.comにおいてご提供いたします。 )

### ■ 株価・出来高の推移 (2004年4月1日～2004年9月30日)



## 株主優待 / 会社概要 / 役員

### ■ 株主優待 (2004年12月1日現在)

毎年3月31日および9月30日現在、100株以上所有の株主名簿記載の株主の皆様へ、次のとおりJALUX 商品券を進呈いたします。

100株以上 500株未満所有の株主	2枚(年間4枚)
500株以上 2,000株未満所有の株主	4枚(年間8枚)
2,000株以上 4,000株未満所有の株主	7枚(年間14枚)
4,000株以上 6,000株未満所有の株主	10枚(年間20枚)
6,000株以上10,000株未満所有の株主	12枚(年間24枚)
10,000株以上所有の株主	14枚(年間28枚)

#### 優待内容

JALUX通信販売カタログおよび空港店舗でのお買い物において、1枚につき1,000円分の商品券としてご利用いただけます。(1年間有効)

他の割引との併用はできませんのでご了承ください。  
優待券のみでお支払いの場合、釣銭はご容赦ください。  
機内販売およびJAL-DFS(成田空港免税店)ではご利用できません。

#### 適用対象

通信販売カタログ

全国空港店舗

株主優待制度(店舗所在地等を含む)は、各種要因により変更となる場合がございますので、予めご留意くださいますようお願い申し上げます。

### ■ 会社概要 (2004年12月1日現在)

商号	株式会社JALUX(ジャルクス)【英文名 JALUX Inc.】
設立	1962年(昭和37年)3月28日
資本金	25億5,855万円
従業員数	1,654名(連結子会社1,011名を含む) 2004年9月30日現在
国内空港支店	千歳、成田、羽田、大阪、福岡など24空港(86店舗)
国内子会社	(株)JAL-DFS(免税品販売) <sup>1 2</sup> (株)JALUXエアポート(空港店舗運営業務) <sup>1</sup>
海外拠点	JALUX EUROPE Ltd.(ロンドン) <sup>1</sup> JALUX EUROPE Ltd., Vienna Branch(ウィーン) JALUX AMERICAS, Inc.(ロサンゼルス) <sup>1</sup> JALUX ASIA Ltd.(バンコク) <sup>1</sup> JALUX ASIA Ltd., Hong Kong Branch(香港) JALUX HAWAII, Inc.(ホノルル) JALUX Inc. Shanghai Representative Office(上海)

<sup>1</sup> 連結子会社 <sup>2</sup> 2004年7月1日、JAL/DFSデュティフリーショップバース(株)は(株)JAL-DFSに社名変更いたしました。

### ■ 役員 (2004年12月1日現在)

代表取締役会長兼社長	横山 善太
取締役副社長	村木 廣 胖
常務取締役	加藤 好 和
常務取締役	堤 義 幸
常務取締役	青山 和 朗
常務取締役	名井 博 明
常務取締役	坂本 敏 男
常務取締役	塩野谷 住 雄
取締役	吉田 亮 二
取締役	飯島 宏
取締役	塚原 雄 二
取締役	市川 健 二
取締役(非)	河野 明 男
取締役(非)	石井 利 宏
取締役(非)	加藤 博 之
監査役	中野 恒 彦
監査役(非)	古川 康 中
監査役(非)	広池 君 夫